

## 令和7年度 医歯工法プロ ワークショップ「証拠保全技術」を開催

医歯工法プロでは、令和7年12月13日（土）に受講生を対象にしたワークショップを開催致しました。

令和5年度に実施し大変好評を博した本ワークショップは、今年度も石川県警察本部 検視官室にご協力をいただき、2名の講師による講演を実施しました。裁判等で証拠として採用されるために必要な撮影の条件について、専門家である司法警察員から、直接座学で要点を学びました。



続いて、参加した受講生が小グループとなり、撮影者・被撮影者・記録者に分かれ実践しました。撮影の最中に生じた疑問は随時講師の先生方にご指導いただきました。全員が3つの役割を体験し、撮影した画像について講師に講評をいただき、学習要点を全員で確認しました。

体験の際には皮下出血を模擬した写真シールを、指示書に従って体の指定部位に貼り付けることで、外傷の記録時に必要な位置の記録方法についても学習しました。

また、皮下出血の時間変化に沿った画像を観察し、クイズ形式で経時変化を学んだり、その写真の欠点を取り上げることで、正しい写真撮影の方法の復習も行いました。



記録画像の色調補正の方法に関する技術や、非侵襲的に皮下出血を近赤外線領域でとらえる技術についても考える機会がありました。

受講生には看護学生を指導したり、実際の証拠化には外部機関の方に協力を得る立場の方もいらっしゃいます。受講生を通じて多くの方にこの撮影技術が広まることが期待されます。